

臨床心理士?・・・臨床心理学に基づき、相談者が抱える精神的、心理的問題や不適応行動などの援助・改善への援助等を職務内容とする心理職専門家。

委員会 Q & A

各委員会で付託された 26 議案等を審査

本会議で付託された 26 件の議案等について、3月13日から17日にかけて行われた各常任委員会で審査した。主な質疑応答の内容をお知らせする。

総務

「職員こころの健康アドバイザー」を設置

Q: 「職員こころの健康アドバイザー」を設置する目的は?

A: こころの健康に配慮した必要な措置等を専門的な見地から行っている。ただ、本市職員の健全かつ円滑な職場環境を構築するため。

Q: どのような資格を持つ方か?

A: 臨床心理士や産業カウンセラーの資格を持ち、実績のある方を予定している。

Q: 具体的な仕事は?

A: 職員がこころの不調を訴えた場合に、相談にのったり、病院等を紹介したりして、その相談ごとの解消を図る。

市公用バス整備基金

Q: 市公用バス整備基金を設置する目的は?

A: 現在運用している公用バスの老朽化に伴い、計画的な更新を図るため。

Q: 市公用バスの1日の運行可能な台数は?

A: 定員42名のバスが3台とマイクロバス2台の計5台を保有しており、最大4台まで運行できる。

Q: 利用状況は?

A: 昨年度の延べ運行日数が806日、平成26年度が712日の運行見込みとなっている。割合は、市の行事等が15%、学校関係が35%、一般の公的団体が50%となっている。

Q: 運転手の雇用形態等は?

A: 運転従事者は、業務委託しているものが2名、臨時職員が1名、職員が1名の計4名。

消防行政

Q: 茨城消防救急デジタル無線・高機能消防共同指令センター整備工事の小美玉市負担金は?

A: 総額80億928万円のうちの2億3909万7000円。

Q: 工事内容は?

A: デジタル無線関係では、無線基地局30局の整備、非常用発動発電設備の設置等。共同指令センター関係では、119番受信の指令台、各消防署に指令する指令伝送装置等の整備を行う。

文教福祉

玉里総合運動公園整備事業

Q: 玉里総合運動公園の整備事業費、平成26年度に繰越して実施することだが、その整備内容は?

A: 天然芝の多目的広場を5000㎡拡張する。大人のサッカーコートでは1面しか取れなかったものが2面取れるようになり、レクレーション対応程度の照明をつける予定。園路は、ジョギングコースとして、最長1kmのコース整備と、LED街



市公用バス

灯を設置することにより夜間でも利用しやすくする。さらに、駐車場約300台分の整備と子どもの遊具の更新工事を行う。

外出支援サービス事業の利用状況は

Q. 25年度から、70歳以上の免許をお持ちでない方にもタクシー券を配付しているが、利用状況は。

A. 現在までに、約300人の方から申請を受けてタクシー券（初乗り料金710円×24枚）を交付している。

○ 大変喜ばれている事業。引き続き、周知に努めながら事業展開してほしい。また、今後、1人あたりの交付枚数を増やすことも考えてほしい。

野菜高騰による給食材料費への影響は

Q. この冬、野菜が急激に高騰した。給食材料は、入札で供給業者と価格が決まると思うが、業者に対する材料費支払いへの影響はなかったか。

A. 以前から、野菜の仕入れ値が大きく変動したときは、基準に則り差

額の配慮をしている。今回も同じような対応をした。

Q. 野菜の高騰や消費税増税などが懸念されるが、給食費は値上げしないよう要望する。

産業建設

畑地帯総合整備事業

Q. 小岩戸地区の畑地帯総合整備事業の進捗状況は？

A. 一部区画整備が完了し粗造成に取り組んでいる。進捗率は約40%となっている。



畑地帯総合整備が進む小岩戸地内

かしてつ跡地のバス専用道化事業

Q. 旧小川駅跡地のバスターミナル工事の進捗状況と完成時期は？

A. 現在は、バス乗降客用のシェルター、トイレ付の待合所、ロータリー内の道路照明、駐輪場などの工事を行っている。一部、26年度へ繰越をお願いし、平成26年5月末に完成の予定。

○ このバスターミナルに、玉里地区側から入る道路の造成をお願いしたい。

広域幹線道路の進捗状況

Q. 栗又四ヶ線及び田木谷上玉里線改良工事の進捗状況は？

A. 栗又四ヶ線は上馬場地内の擁壁工事がほぼ完了し、栗又四ヶ地内の道路改良工事を発注した。今後は、全線の用地確保と工事化を図っていく。

田木谷上玉里線は、2月の雨で一部、盛土が流出したため、平成26年度予算で事業完了予定だったが、まだ正確な完成時期は言えない。

○ 早く開通できるようにお願いしたい。

公共下水道事業

Q. 小美玉市の公共下水道の完成時期は？

A. 平成37年完成を目指している。
○ 下水道工事後の道路について、マンホールとの段差解消などの補修をお願いしたい。

プレミアム商品券

Q. 平成26年度予算では補助金が半額になったが、今後の見通しは？

A. 平成25年度で事業終了の予定だったが、平成26年4月からの増税により消費が冷え込む等の懸念があるため、昨年の半額ではあるが市の補助金を500万円とし、額面5000万円分の商品券を発行することとした。平成27年度以降は商工会とも相談して判断していく考えである。

○ 消費活性化には有効と考える。住民は期待しているので、継続してほしい。